

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身やご家族の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使用してほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	<ul style="list-style-type: none">●研究の名称 手術を施行した顔面神経麻痺症例の検討●研究の対象 浜松医科大学医学部附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科において顔面神経麻痺と診断され、2006年1月1日～2024年8月31日までの期間に通常診療により手術を受けた方●研究の目的 末梢性顔面神経麻痺の重症例には顔面神経減荷術を行うことが推奨されています。通常、キヌタ骨を摘出することで視野を確保し、顔面神経水平部を減荷します。減荷後に伝音再建を行います。難聴が残存することが指摘されています。当院では近年、聴力低下防止を目的に耳小骨連鎖を温存しながら顔面神経減荷術を施行しています。当院で顔面神経減荷術を施行した症例の術式、聴力像、顔面麻痺スコア、有害事象を検証することで、顔面神経麻痺の適切な治療方法を提案します。●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から（西暦）2027年3月まで●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
《利用し、又は提供する試料・情報の項目》	<ul style="list-style-type: none">●研究に使用する試料・情報<ul style="list-style-type: none">・研究対象者背景：当科で手術を行った顔面神経麻痺患者の年齢、性別、主訴、既往歴、合併症、家族歴、生活歴、服薬状況・CT、MRIなどの画像検査

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	<ul style="list-style-type: none"> ・術式 ・聴力像 ・顔面神経麻痺スコア ・有害事象
《利用する者の範囲》	<p>●機関名および責任者名 浜松医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科講座 佐原聡甫</p>
《外国にある者に対する試料・情報の提供》	<p>この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。</p>
《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》	<p>国立大学法人浜松医科大学</p>
《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。</p>
《資料の入手または閲覧》	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
《情報の開示》	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。</p> <p>また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
《問い合わせ先》	<p>〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 耳鼻咽喉科・頭頸部外科</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

担当者： 佐原聡甫

TEL： 0534352252